

## 理由書

本市では、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、それを具体化するための施策の大綱を定めた「第6次広島市基本計画」において、持続的に都市の活力を維持・向上していくため、都心及び拠点地区の特性や役割に応じた都市の集積・強化を図ることとしている。

また、本市の交通政策を定めた「広島市総合交通戦略」及び都市計画に関する基本方針を定めた「広島市都市計画マスタープラン」において、集約型都市構造を支える骨格となり、日常生活・都市活動を支える社会基盤となる公共交通の充実・強化を図るため、交通機関相互の乗換え利便性の向上や環状型ネットワークの形成などに取り組むこととしている。

本市の基幹公共交通であるアストラムラインは、平成6年、広域拠点であるひろしま西風新都と都心部を結ぶ約18.4kmが開業し、平成27年には新白島駅が完成したことで、JR山陽本線との結節が図られたところである。

今後、アストラムラインの終点となっている広域公園前駅から西広島駅に延伸し、JR山陽本線を介した基幹公共交通の環状型ネットワークを形成することにより、都心と広域拠点であるひろしま西風新都とのアクセス性や広域的なネットワークを強化するため、広島新交通西風新都線の都市計画決定を行うものである。